

経営一転語 100 社長の決定は、外部対応であり、未来志向である

社長の、決断や決定は、すべて外部への対応であり、未来志向です。

それは、社員の認識では、無理なことであり、社員に意見を求めても意味のないことが多いものです。

意見を求めるのは、外部に求めた方がよく、社内よりも社外の方が、より良い意見を言ってくれるものです。

重要なことほど、社員に意見を求めるわけにはいかないことが多いものです。

これが、事業経営の難しさです。

社外というのは、一つはお客様であり、一つはコンサルタントのような経営参謀です。さらに、異業種の社長との意見交換の中にヒントが隠されている場合もあります。

このことを、平素から社員に話しをして、理解してもらっておく方がよろしいでしょう。

この説明を怠ると、経営を知らない社員は、「うちの社長は、我々に相談してくれない。ワンマン社長で困ったものだ」と全く、ナンセンスな見解を持ってしまうという危険があります。

もちろん、社内に意見を求めることも大事です。しかし、社内だけの意見を参考にして、経営判断をすると間違えることが多いということなのです。

日頃から、経営とはこういうものだ、社員とコミュニケーションを密にしておく必要があるでしょう。